

復旧復興だより

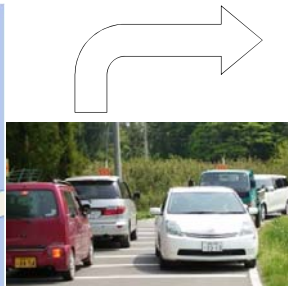
(この便りは、相双建設事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

◆赤柴中島線駒ヶ嶺工区の改良工事が完了しました。

県道赤柴中島線は、新地ICと役場のある新地町中心部を結ぶ重要なアクセス道路ですが、一部が急カーブで幅員も狭く車のすれ違いが困難であったため、この区間の改良整備が望まれておりました。

そうした状況を踏まえ、当事務所では、平成23年度に駒ヶ嶺工区として約1kmの整備に着手し、これまで鋭意整備を進めてきたものであり、このたび無事、改良工事を完了することができました。

これにより、今後は、新地町役場へのアクセス向上のみならず、沿線に立地する工業団地への物流強化などが促進され、地域の復興が一層進むことが期待されます。



車のすれ違いが困難な状況



改良工事が完了した赤柴中島線

[補足]工事に伴い国道113号との交差点に信号が設置されました。これにより交通事故の抑止効果が期待されます。

工事監督員の声 (吉田技師)

工事を無事、完了できてうれしく思います。今後、多くの方に利用してもらい復興の一助となれば幸いです。

現場担当者の声 (東北建設(株) 穴戸さん)

交通量の多い道路で大変な面もありましたが、皆様に喜んでもらえる現場を担当できてうれしく思います。

◆^{しどけ}雫地区海岸(南相馬市原町区内)の堤防工事が完了しました。

震災の津波で被害を受けた海岸堤防のうち、南相馬市原町区内の雫地区海岸(約220m)については、平成26年7月から復旧工事を進めておりましたが、このたび無事完了することができました。

今回の工事では、数十年~百数十年の頻度で発生する津波などに対応できるよう堤防を震災前から1m高くしております。



被災した海岸堤防

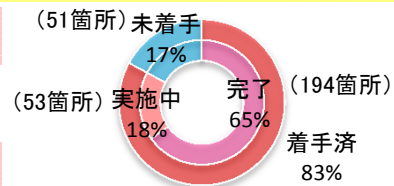


堤防工事が完了した雫地区海岸

◆その他の情報

◇震災の災害復旧工事の進捗(H28.1月末)

※対象は相双建設事務所が管理する道路、河川、海岸等であり、放射線量が高く査定が未実施の避難指示区域の一部は含まず。率は事業箇所数で算出した割合。



◇県道原町川俣線 八木沢トンネルの掘削状況

H28.2.22現在、全長2,345mのうち南相馬市側から2,335m地点を掘削中。(残り10m)

○次回は「国道399号掛札工区の整備」の予定です。(進捗状況等により変更する場合があります)

